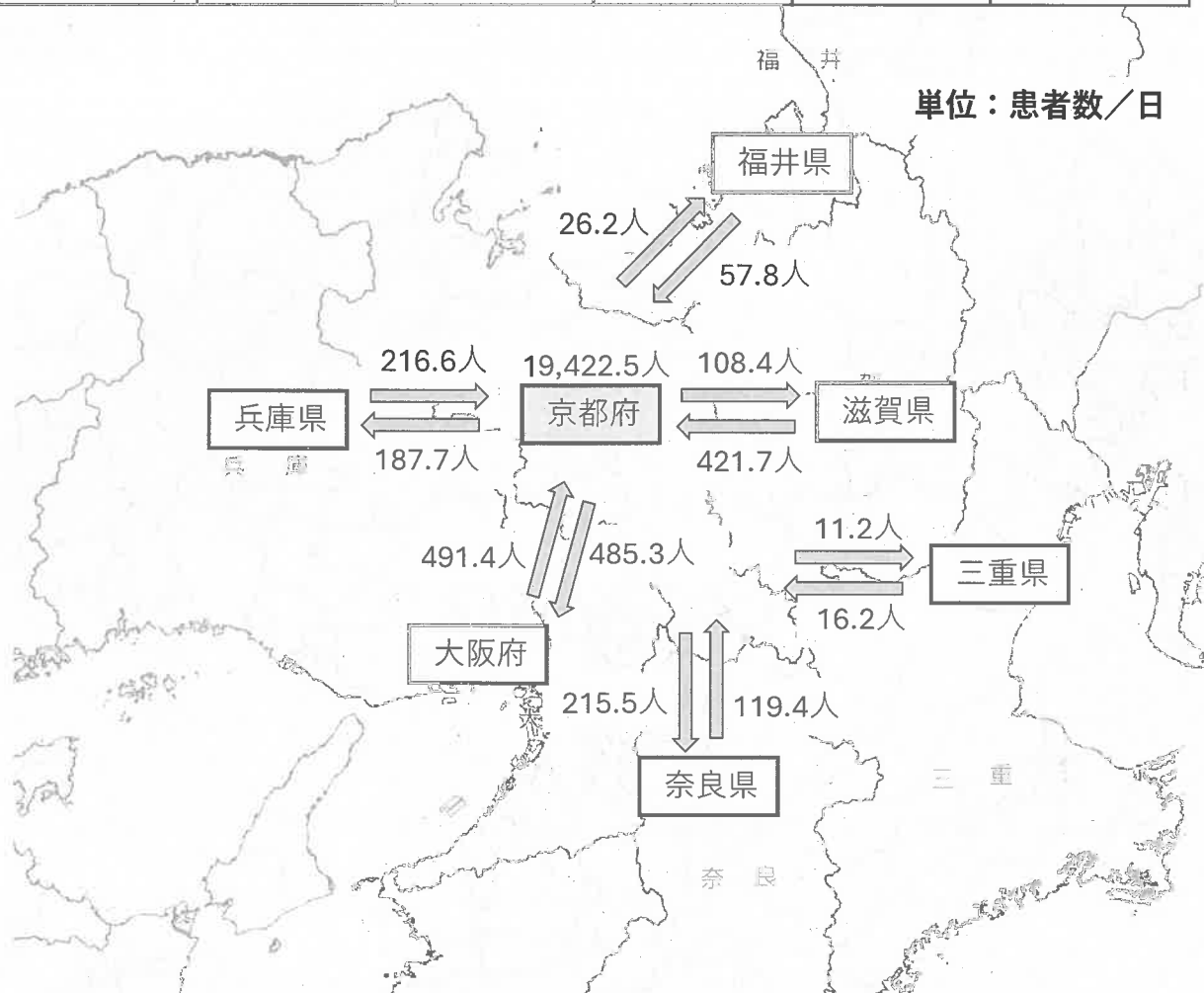


構想区域関係追加資料

- (1) 入院患者の流出入
- (2) 市区町村別入院患者の流出入状況
- (3) 入院患者の流入率、流出率（乙訓）
- (4) 市町村別就業・通学先状況
- (5) 現在の各構想区域の手術等の実施状況
- (6) 乙訓地域の救急告示病院の位置関係と所要時間
- (7) 分野ごとの圏域の考え方

入院患者の流出入

機能区分		①自地域の 入院患者数 (人/日)	②他地域から の流入者数 (人/日)	③他地域への 流出者数 (人/日)	流入者数 -流出者数 <②-③>
医療需要	計	19,422.5	1,496.6	1,168.6	328.0
高度急性期・ 急性期	計	8,052.1	670.3	487.7	182.6
	高度急性期	2,283.5	232.0	148.6	83.5
	急性期	5,768.7	438.2	339.1	99.1
包括期		6,480.2	441.0	302.1	138.9
慢性期		4,890.2	385.3	378.7	6.6

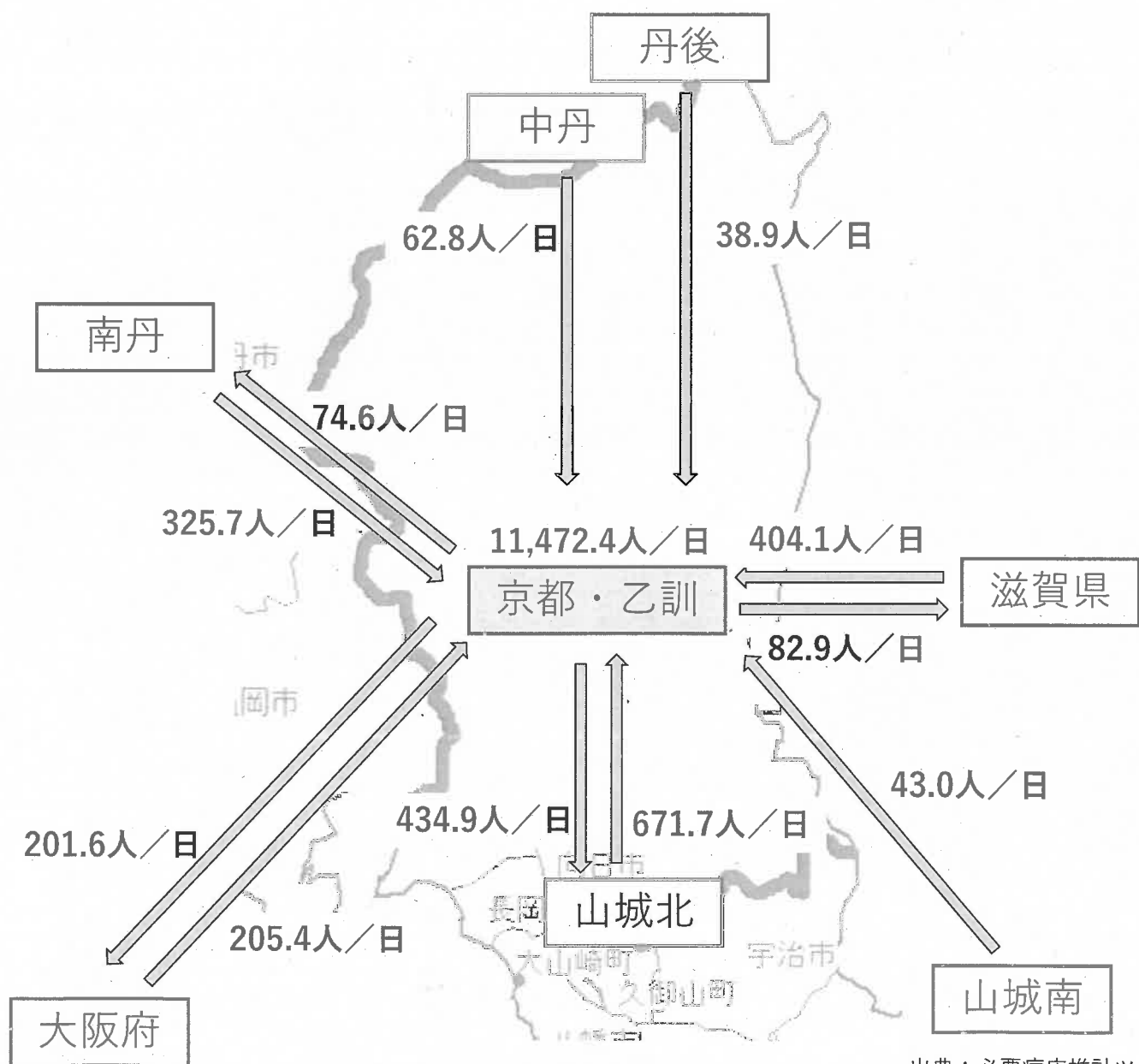


※ 本流出入患者数は、NDBデータ（2024）を基に、患者住所地・医療機関所在地・機能区分（医療資源投入量等）別で算出された数値を集計している。

※ 隣接する府県の流出入データのみを記載している。

京都・乙訓

機能区分		①自地域の 入院患者数 (人/日)	②他地域から の流入者数 (人/日)	③他地域への 流出者数 (人/日)	流入者数 -流出者数 <②-③>
医療需要	計	11,472.4	2,027.1	960.2	1,066.9
高度急性期・ 急性期	計	4,964.8	1,060.2	370.6	689.6
	高度急性期	1,456.8	394.2	109.0	285.2
	急性期	3,508.0	666.0	261.7	404.3
包括期		3,875.7	535.5	242.9	292.6
慢性期		2,632.0	431.4	346.7	84.7



※ 概ね30名以上の代表的な流出入のみを記載している。

出典：必要病床推計ツール

市町村別就業・通学先状況

1 就業・通学状況まとめ（令和2年国勢調査）

- ・就業・通学先は生活圏と密接に関係するほか、医療従事者確保の圏域とも関連すると考えられる。
- ・各構想区域内について入院患者の受療動向と同様に、その多くが居住市町村内、構想区域内の移動となっているが、一定数が各地域から京都市や奈良市、大阪市などの各都市圏に向かっている状況が認められる。

丹後	・居住市町内で約6～8割完結し、丹後地域内まで含めると各市町で約8～9割完結している。
中丹	・居住市内で約7～8割完結し、中丹地域内まで含めると各市で約9割完結している。
南丹	・居住市町村内で約5～7割完結し、南丹地域内まで含めると約6～8割の完結している。 ・亀岡市では約2割、南丹市では約1割が京都市に就業・通学している。
京都 ・乙訓	<京都市> ・京都市内で約8割完結し、大阪府や山城地域をはじめ周辺地域への就業・通学もみられる。 <乙訓> ・居住市町内で約3～4割完結し、約2～3割が京都市に就業・通学している。
山城北	・居住市町内で約4～5割完結し、約1～3割が京都市に就業・通学している。 ・八幡市、京田辺市では、枚方市や大阪市にも就業・通学がみられる。
山城南	・居住市町村内で約4～6割完結し、市町村により奈良市内、京都市内等への就業・通学がみられる。 ・木津川市や精華町では約1割が京都市に就業・通学している。 ・管内の各市町村では約1割が奈良市に就業・通学している。 ・南山城村では約2割が伊賀市に就業・通学している。

入院患者の流入率（乙訓）

流入

医療機関 所在地	高度急性期・急性期	包括期	慢性期
向日市	西京区 34.5% 向日市 31.5% 長岡京市 10.4%	西京区 39.0% 向日市 37.2% 長岡京市 12.0%	西京区 35.0% 向日市 27.3% 長岡京市 14.1%
長岡京市	長岡京市 53.2% 向日市 20.7% 大山崎町 10.0%	長岡京市 54.0% 向日市 19.6% 大山崎町 9.5%	長岡京市 37.9% 西京区 17.5% 向日市 12.0%
大山崎町	-	-	-

※NDBデータを基にした市区町村別流入率（上位3市区町村を抜粋）

入院患者の流出率（乙訓）

流出

患者住所	高度急性期・急性期	包括期	慢性期
向日市	西京区 39.1% 長岡京市 25.9% 向日市 5.6%	西京区 31.5% 長岡京市 28.4% 向日市 6.9%	向日市 27.7% 伏見区 14.9% 長岡京市 12.9%
長岡京市	長岡京市 48.8% 西京区 18.7% 上京区 4.7%	長岡京市 52.6% 西京区 17.3% 伏見区 5.8%	長岡京市 30.9% 伏見区 21.8% 向日市 10.9%
大山崎町	長岡京市 45.6% 高槻市 12.9% 西京区 11.1%	長岡京市 51.5% 高槻市 15.1% 伏見区 8.0%	長岡京市 27.4% 伏見区 21.4% 右京区 8.5%

※NDBデータを基にした市区町村別流出率（上位3市区町村を抜粋）

市町村別就業・通学先（南丹・京都・乙訓）

就業・通学先

南丹

住所	就業・通学先
亀岡市	亀岡市 57.2% 京都市 21.2% 南丹市 6.7%
南丹市	南丹市 66.4% 京都市 11.6% 亀岡市 10.6%
京丹波町	京丹波町 66.5% 南丹市 11.3% 亀岡市 4.5%

京都・乙訓

住所	就業・通学先
京都市	京都市 78.5% 大阪市 3.4% 宇治市 1.3%
向日市	京都市 39.0% 向日市 31.5% 長岡京市 6.5%
長岡京市	長岡京市 42.5% 京都市 27.9% 大阪市 8.3%
大山崎町	大山崎町 31.5% 京都市 24.0% 長岡京市 12.2%

※令和2年国勢調査を基にした就業・通学先（上位3市町村を抜粋）

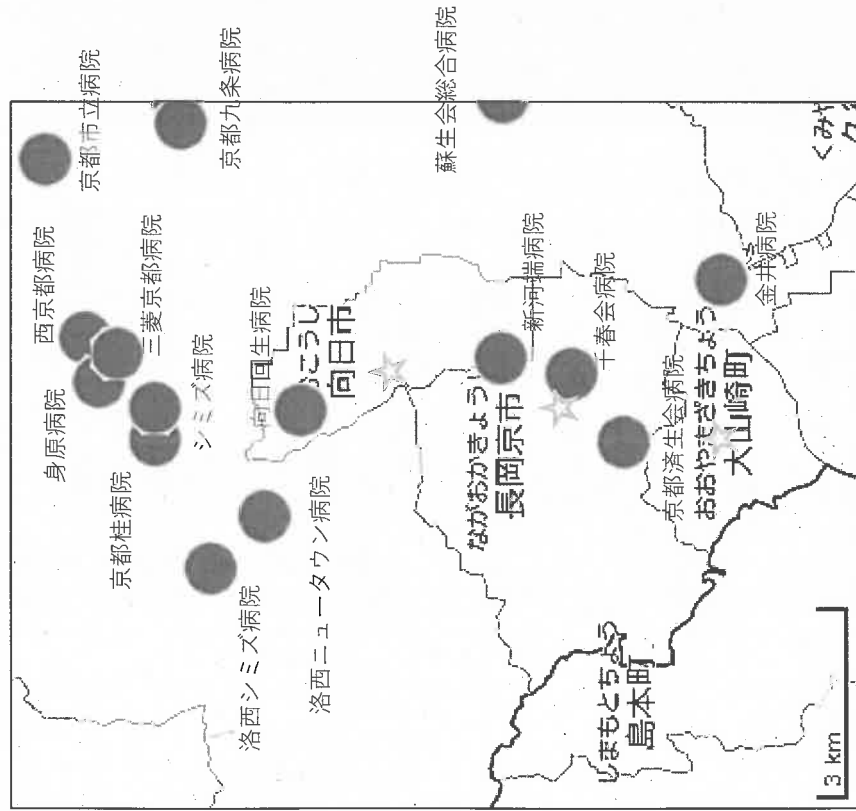
現在の各構想区域の手術等の実施状況

		幅広い手術		がん	脳		心臓	
		手術	全身麻酔手術	悪性腫瘍手術	t-PA投与 (脳梗塞)	脳血管内手術	経皮的冠動脈 形成術	冠動脈、大動脈 バイパス移植術
丹後	件数	6,173	2,436	481	7	0	107	0
	実施病院数	6	4	6	1	0	3	0
中丹	件数	11,495	5,700	935	44	99	446	19
	実施病院数	11	8	6	2	2	5	1
南丹	件数	4,870	2,256	450	5	0	206	0
	実施病院数	9	5	5	1	0	1	0
京都・乙訓	件数	108,556	51,461	10,237	242	839	4345	155
	実施病院数	82	51	31	13	15	21	9
山城北	件数	22,267	10,402	1,658	89	199	1517	30
	実施病院数	19	10	9	4	4	4	2
山城南	件数	3,168	1,179	283	11	12	193	0
	実施病院数	3	2	2	1	1	2	0

各地域の救急告示病院の位置関係と所要時間

救急病院広域図 (国土地理院地図)	病床機能報告で急性期機能があると報告している病院であって、救急告示病院の位置を示している。 <凡例> ● 府内救急告示病院 ● 府外救急告示病院 ☆ 市役所、町村役場（一部市町の支所を含む。）
病院機能 (救急、脳卒中、心筋梗塞)	救 急：救急告示病院の有無 脳 卒 中：脳卒中の医療連携体制において急性期の役割を果たす医療機関 (第2期京都府循環器病対策推進計画) 手術有については、同計画の1次脳卒中センター（PSC） 心筋梗塞：急性心筋梗塞の急性期医療を担う医療機関 (第2期京都府循環器病対策推進計画) ※ 府外については急性期病床を有する病院の一部を抽出して記載している。
市役所・町村役場等から 各病院への所要時間	所要時間は、google mapで計測している（高速道路・自動車道路の利用を含む。）。 冬季の積雪や台風・水害、その他道路状況が所要時間に影響を与えることについて 考慮が必要 ◎：約30分以内 ○：約60分以内 ：約60分以上

乙訓地域周辺の救急告示病院（広域）



	病院名	救急	脳卒中 (急性期)	心筋梗塞 (急性期)
乙訓	向日回生病院	○		
	新河端病院	○		
	京都済生会病院	○	◎ (手術)	○
	千春会病院	○		
	京都桂病院	○	◎ (手術)	○
西京区	三菱京都病院	○		○
	西京都病院	○		
	シミズ病院	○	◎ (手術)	
	洛西シミズ病院	○		
	洛西ニュータウン病院	○		○
中京区	京都市立病院	○	◎ (手術)	○
	京都九条病院	○	◎ (手術)	○
南区	蘇生会総合病院	○	◎ (手術)	○
	金井病院	○		
伏見区				

※急性期病床のない救急告示病院を除く。

乙訓地域から救急告示病院への所要時間

		起点別の所要時間		
		向日市役所	長岡京市役所	大山崎町役場
乙訓	向日回生病院	◎	◎	◎
	新河端病院	◎	◎	◎
	京都済生会病院	◎	◎	◎
	千春会病院	◎	◎	◎
	京都桂病院	◎	◎	◎
西京区・中京区・南区・伏見区	三菱京都病院	◎	◎	◎
	西京都病院	◎	◎	◎
	シミズ病院	◎	◎	◎
	洛西シミズ病院	◎	◎	◎
	洛西ニュータウン病院	◎	◎	◎
	京都市立病院	○	○	○
	京都九条病院	◎	◎	◎
	蘇生会総合病院	◎	◎	◎
	金井病院	◎	◎	◎

◎：約30分以内

○：約60分以内

：約60分以上

分野ごとの圏域の考え方について

分野例	圏域の考え方
構想区域	医療提供体制構築、必要病床数の運用の単位として設定
二次医療圏	一般的な入院医療の整備、基準病床数の運用の単位として設定

原則一致と
されている

<圏域の考え方例>

循環器医療	急性期の救急医療体制については、二次医療圏にとられず体制を構築 回復期、維持期、生活期においては二次医療圏を単位とした体制を構築
脳卒中	専門的治療が24時間実施可能で、発症後4.5時間以内の超急性期に脳血管疾患の救急受 入ができる体制を二次医療圏にこだわらず整備する。
心筋梗塞等	発症後12時間以内のPCI(経皮的冠動脈形成術)が可能で、できる限り早期に救急受入で きる体制を二次医療圏にこだわらず整備する。
がん	我が国に多いがんについては二次医療圏単位で標準治療を均てん化し、高度な手術・放 射線治療、希少がんの治療等については大学病院等での集約化により医療提供体制を構 築